

平成23年 5月26日

まちづくり活動助成「地域“魅力”アップ部門・“はじめの一步”部門」  
**まちづくり活動提案書**

## 1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

提案名	障がいのある若者とその家族・支援者への「愛と性の講座」		
団体名	障がいのある子どもの父母のネットワーク愛知		
提案の活動を行う地域	名古屋市、愛知県内		
提案の内容	<p>「愛と性の講座」を受講する方々の立場や年齢にあわせて、3つのパターンで開催する。</p> <p>(1) 保護者・支援者向けの講座  障がいのある子ども・若者を育てている保護者や家族、または障がい児者支援事業所の職員、教育や療育関係者、保健師、保育士、福祉や保育を学ぶ学生など、障がいのある子ども・若者を取り巻く方々に、障がいのある若者たちの思春期の状況や抱いてる不安などを理解してもらい、より適切な導きや支援について学んでもらう。平日の午前と休日の午後と2回開催し、より多くの立場の方に参加してもらえようとする。</p> <p>(2) 障がいのある小学校高学年とその親にむけての講座（親子講座）  思春期への階段を上り始めた高学年の児童とその保護者向けの講座を2回にわたり開催する。本格的な思春期の前に、本人が知り体験しておくことや保護者として考え、準備していくことなどを学ぶ。保護者へ『性教育』に対する偏見や回避することを防ぎ、子どもたちの心身の成長について前向きに考えてもらう機会としたい。</p> <p>(3) 障がいのある中高生のための連続講座  思春期を迎えた中高生たちに自身の心身の役割や大切さ、その守り方に始まり、相手とのコミュニケーションの取り方、気持ちの伝え方などをロールプレイをまじえ、DVDなどを見ながら無理なく丁寧に学んでいきます。5回にわたり、スモールステップで積み重ねて学ぶことで、しっかりと見に付いてゆけるよう支援します。</p>		
活動期間	平成23年4月～平成24年3月	助成金交付申請額	50万円

## 2 提案内容について

「1 提案の内容」について、以下の4つの視点で具体的に活動内容をご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざしたまちづくり活動内容か</li> <li>・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か</li> <li>・地域との連携や協力が得られる活動か</li> <li>・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感 が得られる活動か</li> </ul>
--------------	---

**(提案活動の必要性について上記観点から分かり易くご記入下さい。)**

**※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。**

障害のある子ども・若者は心身の発達遅滞から、性について学ぶ機会を殆ど与えられておらず、犯罪の被害者や加害者になってしまうことも少なくありません。しかし彼らこそ、自身の身体のおしくみや変化について知り、自らを大切にすることや他者への気持ちの伝え方を学ぶことが大切であり、それは彼らの自立や豊かな社会生活を営んでいく上で重要な基礎となると思われます。ただ現在、この分野は学校や家庭ではなかなか学ぶ機会がないため、保護者や支援施設職員、関係機関などもさまざまな場面で困惑し悩んでおり、学べる機会を熱望もしています。

また、今後は障害者の方々が地域での暮らしを望み、推進されていく中、彼らの心身の状況や特性などを地域の方々に理解してもらい、連携を取ったサポートを受け、地域の一員としていきいきと暮らしてゆけるためにも、彼ら自身がコミュニケーションの取り方や大切さ、愛や性の意味などを学んでいくことは大変必要と思われます。

審査基準② 独創性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創意工夫にあふれた活動か</li> <li>・地域性を活かした個性豊かな活動か</li> <li>・新しい視点やアイデアがあるか</li> </ul>
--------------	---

**(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)**

「愛と性」という大変重要であるにもかかわらず、取組み方が非常に難しいテーマに対して、長年にわたり研究や提案を続けてきた「性教協(人間と性教育研究協議会)」の講師の方々の協力を得ることができ、学びに参加する方の立場や年齢に応じた多種類の講座を開催することが可能となりました。

- ・保護者・支援者向けは平日の昼間と休日の2回開催とし就労している保護者や施設職員にも参加しやすい設定としました。
  - ・親子講座では身体編とこころ編に分けて入りやすい内容とし、保護者の性に対する偏見や回避したいという思いを減少させるねらいも持たせています。
  - ・中高生向けの講座では、思春期真っただ中の受講生たちにも楽しく集中しやすいプログラムにし、スモールステップで丁寧に学べる構成にしています。いずれも、毎回講師と細かい打合せを行い進めていきます。中高生向けの講座は受講生の個票を作成し、個々に合ったフォローや声かけができるよう講師・スタッフ内で事前に準備をしていくので、一人一人に合った講座になると思われます。
- それぞれの講座の対して、事前・事後アンケートや聞き取りを行い、受講者の意識の変化や受講後の様子、取組みについて調べ、さまざまな関係機関などに告知、提案をしてきたいと考えています。

審査基準③ 実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案内容が具体的にになっているか</li> <li>・事業予算は妥当か</li> </ul>
--------------	--

時期	活動内容
平成23年4月	全体の構成を練る
5月	講師依頼、講師と内容の打合せ①
6月	保護者・支援者向け講座 開催 講師との打合せ②
7月	障がいのある小学生高学年向けの親子講座 開催
8月	2つの講座に関する振り返り まとめ 講師との打合せ③
9月	障がいのある中高生向けの講座 1回目 講師との打合せ④
10月	障がいのある中高生向けの講座 2回目～4回目 講師との打合せ⑤
11月	障がいのある中高生向けの講座 5回目
12月	成果のまとめ (関係機関などに告知や提案)
平成24年1月	
2月	
3月	

助成を受けようとする活動項目ごとの支出内訳書(ページが不足する場合は別紙にご記入下さい。)

活動項目	内訳		金額(円)
講座の開催	講師謝金	講師謝礼金 (9回でのべ30人)	270,000
		ボランティア謝金(のべ32人)	64,000
	使用料賃貸料	会場使用料	7,200
		資料印刷費	コピー代金、紙代 製版代
	消耗品	SDカード、インク代、CD-ROM	10,000
	交通費	講師交通費	24,000
		スタッフ交通費(のべ45人)	36,000
	その他	ボランティア交通費	25,600
		事前打合せ(講師) 5回	16,000
		事前打合せ(スタッフ)5回	20,000
保険代 通信費 飲み物等		31,300	
計		509,100	

審査基準④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか</li> <li>・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか</li> </ul>
発展性	
<b>(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</b>	
<p>愛と性の講座は回数や対象を変えたり内容をアレンジして、様々な場面や人々のニーズに添って開催できます。地域で暮らしていく障害児者の方にとって、障害からくる困難さや特性などを多くの方に理解してもらい、スムーズなコミュニケーションが取れることは大変重要です。彼らへのサポートや理解が進むことは、地域の高齢者や若年者などを含む全ての人々にとっても「人にやさしいまちづくり」への基礎の一つとなると思われます。</p> <p>さらに、障害児者や児童などが犯罪に巻き込まれたり、被害者や加害者となってしまう機会の減少に繋がります。また、障害児者の方々が自分と相手、双方の気持ちを考えることを習慣づけて身に付けることで多くの仲間を得たり、職場等でも円滑な人間関係を築くことができます。それにより、安定した職業生活を送ることが可能になったり、趣味等の活動の場が広がってバランスの取れた生活の継続が期待できます。このようなことから障害児者の方々の地域への貢献も少しずつ可能になっていくことと思われます。</p>	
審査基準⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか</li> <li>(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等をご記入ください。)</li> <li>・具体的にどんな熱意を注いでいるか</li> </ul>
活動実績と主体性	
<p>※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。</p> <p>※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。この場合、公正を期するため、A4判3枚(両面)までを限度とさせていただきます。</p> <p><b>団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。</b></p> <p>当団体は、1998年に設立以来、さまざまな親の会や団体、個人を繋げていくネットワークづくりを活動の柱としています。ネットワーク作りをする中で地域の親や支援者たちが繋がり地域づくりに働きかけたり、連携した事業を進めていく手伝いなどを行っています。障害児者の「就学」「思春期」「制度について」「障害児のきょうだいたちにつて」の4つを主なテーマとして、学習会やシンポジウムなどを開いていますが、いずれもどの地域でもどの障害児者の方にも共通するテーマであることから、市内全区、また市外、県内外の会員が集まって活動しています。</p> <p>特に「きょうだいについて」のテーマは例会を毎年開催し、その報告などを本にして販売・配布していますが、きょうだいのホンネが聞けると大変好評です。</p>	

※第2号様式は、3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とします。